

平成 30 年度
第 8 回香美市まちづくり委員会会議録要旨

日 時 : 平成 31 年 2 月 15 日 (金) 午後 6 時 30 分～午後 7 時 50 分
場 所 : 香美市役所 3 階会議室 301・302
出席者 : まちづくり委員 15 名
 企画財政課長、企画調整班 3 名
欠席者 : 8 名
会 長 : 公文久郎委員

・会長開会の挨拶

【協議内容】

1. 協働のまちづくり条例・施行規則について

- ・当日配布した「香美市協働のまちづくり条例（案）・施行規則（案）新旧対照表」を使用して、議会の「協働」・「参画」調査研究特別委員会との協議や、パブリックコメントの意見などを踏まえて修正した最終の改正案について事務局から説明する。
- ・今後は議員に条例の説明を行い、6 月議会に提案予定である。

・他の議員から異論や意見が出た場合、内容がまた変わる可能性があるか。

→変わる可能性はあるが、大きく内容が変わることは考えていない。

議会は議決機関になるので、すり合わせが必要なケースが出てきた場合は、間に合えば 3 月に開催予定のこの会で説明するし、間に合わなければ文章でお送りしたい。

市民の方々に参加していただき、協議や意見をいただいて作り上げて修正をかけ、またパブリックコメントや各会派から構成されている「協働」・「参画」調査研究特別委員会とも協議を行っているので、大きく変わるとは考えていない。

内容が大きく変わるような意見があったとしてもこれまでの経緯を尊重し、この内容で提出させていただくという説明をしたいと思っている。

2. 人口減少問題に関する提言について

- ・当日配布した「提言への市の取り組みや方向性」の資料を使用して、提言に対する各課の対応について事務局から説明する。

・児童クラブの運営に関する提言に対して「1 つの運営団体に任せる」という表現が、丸投げするという印象を受ける。

→指定管理となるためこのような表現になっているが、最終的な責任は市が持ち、指定管理者に決められた範囲内で自由にやってもらうことにより運営が安定につながっていくということと思うが、いただいた意見は担当課に伝える。

・道の駅の提言に対する商工観光課の対応について、もう少し具体的に説明してほしい。
→現在、観光部門は広域で行っていることもあり、このような回答になっているが、提言の内容は香美市内の観光資源の中核施設についてということで回答になっていないので、担当課に伝え、もっと良い方向にもっていくことができるようにしたい。

・自分達が提言したものがこれで終わりとならないように市には対応してほしい。
→このまま終わってしまわないように、その都度、各課の対応などについて確認し、前向きに進めていけるようにしたい。また、意見交換の場が持てれば、より実現に近づけるのではと考えている。担当課で問題点や課題があれば、いろいろ一緒に考えることもお願いしたい。

・提言に対する取り組みや方向性が明確に示されておらず、市長の見解と各課の回答が噛み合っていないのも違和感があるので、この提言を一般市民にも公開して問題意識を持ってもらい、一緒に考えてもらってはどうか。
・人材バンクに登録されている人の活躍の場をコーディネートする人材も必要で、機能させないと意味がないが、そのこともしっかり検討しているのか。
・ハードルは飛び越えるためにあるものなので、皆が本気になって取り組み、香美市を良くしていくべきでは。

・年に何回か議会のような形で各課長と意見交換の場の機会を設けてほしい。
→課長会で提案したい。

・提言がまだ十分に活かされていないので、市長に伝えてもらい、積極的に真摯な取り組みを行っていただきたい。

(事務局より)

次回は約2年間参加していただいた意見や感想を皆さんからお聞きし、それを次期まちづくり委員会につなげていきたいと考えている。